

精研新聞



第4号
平成16年7月

発行元
岡山県立精研高等学校
TEL 0866(62)0203 FAX 0866(62)8254
E-mail seiken@pref.okayama.jp
URL http://www.seiken-okayama-c.ed.jp

地域に根ざした活躍

「花の精研、福祉の精研、インターネットの精研」のキャッチフレーズで地域の人々に親しまれている精研高校は、ボランティア活動や体育祭、精研地域ふれあいデーなどの学校行事を通じて地域との積極的な交流を行っている。また、小学生との交流授業など新しいタイプの授業や体験実習が実施され、生徒は様々な体験を通して多くのことを学んでいる。その他、PTA主催の「精研いきいき講座」も好評で多くの地域の方々が参加されている。

販売ステーション

井原市上出部にある精研農場の入り口に無人販売ステーションがある。このステーションでは、生徒たちが実習で生産した野菜や草花が所狭しと並んでいる。野菜の苗からガーデニング用の草花そして時期には果物までが並べられ、地域の方が喜んで買っていく。



井原親子ネット

六月十一日、家政科二年福祉専門コースの児童文化選択者九名が、児童文化の授業の一環として「児童文化活動」の特別授業を受けた。児童文化の説明を受け、発声練習をし、親子ネットの実演を見た。生徒は、手作りの児童文化財に大変興味を持ち、積極的に質問をしていた。



児童デイサービス訪問

六月二十九日、家政科三年福祉専門コースの生徒三十名が保育原理技術の授業の一環として、指定児童デイサービス事業所「あゆみ園」を訪問した。園児たちは突然の多くの訪問者にびっくりした様子であったが、おもちゃを持ったおねえさんたちにすぐにうちとけ、楽しいひとときを過ごした。

これからも、保健センター実習や幼稚園見学実習、乳幼児見学実習、施設訪問など、それぞれのコースで地域へ出向いての授業が計画されている。



大山塾での園芸交流

六月二日、井原市の大山塾で園芸交流が実施された。園芸科学科三年生四名が塾を訪れ、塾の生徒四名それにスタッフ四名で花壇作りを行った。今年度は、オリジナルのペチュニアに加え、アゲラタムやコスモス、ミムラス、マリーゴールドやペチュニアなどを植えた。生徒たちは、汗を流しながらも一生懸命頑張っていた。

小学生の園芸教室

六月二日、井原小学校で園芸教室を行った。今回担当したのは園芸科学科三年ガーデニング専攻の十名。井原小学校二年生の元気な挨拶で園芸教室は始まり、高校生により模造紙を使った説明後、四つのグループに分かれて教室前の花壇にペチュニアを植えた。小学生からいろいろな質問があり、照れながら応える場面もあって楽しい園芸教室となった。



精研花便り

園芸科学科二年生の石丸沙織さんの作った漫画「ランちゃんのコチョウラン育て方教室」を添えて、地域の福祉施設等にコチョウランの鉢植えをプレゼントした。今年度は、小田川荘、木之子荘、偕楽園、やすらぎセンター、田中美術館、いこいの里、社会福祉協議会、はばたき作業所の八カ所へ贈った。



オリジナルペチュニア提供

園芸科学科二年生の生物活用の授業で育てた精研オリジナルのペチュニアの苗を地域の花ボランティアの皆さんに提供した。モミガラ培地で元気に育った苗六百鉢を提供した。



精研生き生き講座

六月五日、PTA主催の平成十六年度精研生き生き講座がスタートした。第一回は精研農場において、井原市の花「ペチュニア」を主役にしたコンテナガーデニングを制作した。また、花壇の管理や挿し木、交配の仕方などについても生徒がわかりやすく説明していた。

七月三日には、染色作家仁城澄江先生をお招きして、草木染めによるオリジナルスカーフの制作を行った。受講者たちは、出来上がった作品を見て、草木染めとシルクの繊細な色合いに満足していた。九月十八日には「和風ガーデニング 苔玉作り」十二月十一日には「クリスマスちなんだお菓子作り」を予定している。

